

会 議 録

会議名称	沼田市市民活動センター運営委員会 第3回会議	
開催日時	平成25年11月26日(火) 午後3時30分～午後4時50分 保健福祉センター会議室	
出席者	津久井委員長、傳田副委員長、倉澤委員、今井委員、生方委員、下荒磯委員、小野里委員、茂木委員 以上8名(欠席:塚越委員 後藤委員) 井上生活課長、南波協働推進係長、鈴木チーフ	
協議事項	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平成25年度事業経過について <ul style="list-style-type: none"> ・ 協働によるまちづくり講演会について ○ 平成26年度事業計画について ○ その他 	
配付資料	<ul style="list-style-type: none"> ○ 委員名簿 資料1 平成25年度 沼田市市民活動センター「ぬまたん家」事業経過 資料2 平成26年度 沼田市市民活動センター「ぬまたん家」事業計画(案) 別紙1 沼田市市民活動センター利用状況 別紙2 市民協働によるまちづくり講演会開催要項(1案)(2案) 別紙3 沼田市市民協働によるまちづくり事業補助金募集要項 ○ 第2回 会議録 	
審 議 状 況	(1) 審 議 経 過	<ul style="list-style-type: none"> ○ 宮崎委員長退任のため傳田副委員長あいさつ後、後任の津久井社会福祉協議会会長を委員長として選任。津久井委員長あいさつ後、協議に入った。 ○ 事務局より平成25年度事業経過及び平成25年度事業計画(案)について説明後、意見を聞いた。
	(2) 結 論	<ul style="list-style-type: none"> ○ 宮崎委員長退任により後任の津久井社会福祉協議会会長が委員長として選任された。 ○ 平成25年度事業経過について 事業計画書に従って、実施済みの事業と年度末までの開催予定事業の15事業について事業名・タイトル・開催結果について説明。 ○ 市民協働によるまちづくり講演会について 提案にある1・2案とも聞いてみたいという意見があり、事務局に一任。 周知方法について、たくさんの人に来てもらう工夫を考える。 ○ 平成26年度事業計画(案)について 実施項目は25年度と同様 ○ 沼田市市民協働によるまちづくり事業補助金26年度事業計画募集について説明

主 な 意 見

○ 市民協働によるまちづくり講演会について

(委 員) お客様が会場に来るまでが難しい。集客力を高めるための周知方法について、わかりやすい演題の工夫、チラシで内容の良いところをピックアップするとか、かわいらしいカットを取り入れるなどの工夫をさらにしてほしい。チラシを配布するだけではなく、各団体などにも積極的な働きかけをしてほしい。

(委 員) 1案を聞きたい理由、活動を始める人達に向けての話であり、活動に入っただくきっかけとなる大事な部分だと思う。地域でどんなパワーを出せるか、持ち味を活かせるか、生きがいを持って暮らせるか、というような内容を皆さんに周知できれば、地域の皆さんが元気になり、活性化するまちができて素敵だと思う。

(委 員) 2案を聞きたい理由、PTAなどで若いお母さん方にボランティアで動いてもらうのは非常に難しく感じた自身の経験から、そういう場合、具体的にどうしたらいいか、心理学的にどうしたらいいかという面から聞いてみたい。

(事務局) 両方の案について聞きたいという要望が出たので、事務局に一任していただく。講演会の機会はまたこれからもあるので、2案とも実施することも考えられる。また実施しなかったほうの案を26年度に組み込むことも可能である。

○ 26年度事業計画案について

(事務局) 前回会議でパソコン関係を教えてほしいという意見があったが、有料で教室を開いている人がいらっしゃるのので、「ぬまたん家」として教室形式で開くことは控えたい。団体で作成するチラシや資料などの相談で来所された人に対しては、パソコンでの作成方法や構成などの相談に応じることはできる。

(委 員) 団体で作成したチラシの掲示について、「ぬまたん家」だけではなく、市役所や公民館などにも掲示してほしい。ホームページがあることも知っているが、具体的に目で見える箇所を増やしてほしい。

(事務局) 各団体へ原稿を依頼して掲載しているホットニュースぬまたん家は、市役所・振興局等各関連施設にも設置しているのでご利用いただきたい。掲示板についてはまた考えさせていただく。

○ 沼田市市民協働によるまちづくり事業補助金26年度事業計画募集について

(事務局) 事務局でも回覧・チラシ等で周知しているが、皆さんに勧めて利用していただきたい。「ぬまたん家」未登録団体でも応募は可能。

(委 員) 補助金利用後の成果の検証について、成功だけでなく失敗した部分があるとなれば、その原因を考えることも含めて検証であるということを確認する。